

# 「いじめ・不登校対策の推進」の取組事例

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、いじめ・不登校の「未然防止」に向けた短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進、SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の定期的開催等、学校の組織的な取組が進められています。そこで、「1学期取組状況調査」から、「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。自校のいじめ・不登校対策の推進に向けた参考資料としてご活用ください。

## 「人間関係づくりプログラム」の取組事例



日田市立いつま小学校  
なかよしタイム「ふたりはピタンコ」



日田市立戸山中学校  
コミュニケーションタイム



日田市立五馬中学校  
構成的グループエンカウンター「探偵ゲーム」

## SL(スクールロイヤー)を活用したいじめ防止授業 日田市立津江小学校



- ・週1回程度のショートエクササイズと月1回程度のロングエクササイズを実施。
- ・友だちの「新たな発見」につながった。

- ・以前より学級ごとのコミュニケーションタイムを定期的実施。仲間づくりが深まった。

- ・「学校が楽しい」とする生徒の割合は89.5%(A評価)であった。仲間づくりの進展があり、授業でのベースになっている。

- ・法的側面からのいじめ防止教育推進のために法律の専門家であるスクールロイヤー(SL)を活用。

## 取組事例「休道清掃」日田市立朝日小学校



本年度から実施している「休道清掃」の取組では、道徳の重点内容項目「親切・思いやり」の授業と関連付けて各学年で取組んだ。清掃中だけでなく学校生活の様々な場面で「しんせつ玉」をみがこうとする場面が見られるようになってきた。自己を向上させようという意欲が高まり、他者に対する思いやりや分かち合いの心を生活の場で実践できるようになってきた。

## SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の成果

- SCやSSW等の専門スタッフ、関係中学校、市関係部局、市教育センター、児童家庭支援センター等の8者によるケース会議を行うことにより、当該児童及び兄弟・保護者を含めた支援を、外部係機関と協働し効果的に行うことができた。
- 校内対策委員会にSCに参加してもらい、授業観察やカウンセリングで分かった不登校傾向の児童の思いを情報共有することで、今後の対応を組織的に行うことができた。
- いじめ・不登校対策委員会にSCはもちろん、登校支援員に参加してもらうことで情報共有ができ、不登校の生徒が別室登校になった。
- SCと定期的に児童の思いや保護者の思いを情報共有することで、今後の対応を共通理解し指導に生かすことができた。その結果、児童に改善傾向が見られた。